

愛川北部病院

通所リハビリテーション（介護予防通所リハビリテーション）運営規定

（運営規定設置の趣旨）

第1条 医療法人社団福寿会が開設する愛川北部病院（以下「当事業所」という。）において実施する通所リハビリテーション（介護予防通所リハビリテーション）の適正な運営を確保するために、人員及び管理運営に関する事項を定める。

（事業の目的）

第2条 通所リハビリテーション（介護予防通所リハビリテーション）は、要介護状態（介護予防通所リハビリテーションにあっては要支援状態）と認定された利用者（以下単に「利用者」という。）に対し、介護保険法令の趣旨に従って、通所リハビリテーション（介護予防通所リハビリテーション）計画を立て実施し、利用者の心身機能の維持回復を図ることを目的とする。

（運営の方針）

第3条 当事業所では、通所リハビリテーション（介護予防通所リハビリテーション）計画に基づいて、理学療法、作業療法及び言語療法その他必要なリハビリテーションを行い、利用者の心身の機能の維持回復を図り、利用者が可能な限りその居宅において、自立した日常生活を営むことができるよう在宅ケアの支援に努める。

- 2 当事業所では、居宅介護支援事業者（介護予防支援事業者）、その他保険医療福祉サービス提供者及び関係市区町村と綿密な連携をはかり、利用者が地域において統合的サービス提供を受けることができるよう努める。
- 3 サービス提供にあたっては、懇切丁寧を旨とし、利用者又はその家族に対して療養上必要な事項について、理解しやすいように指導又は説明を行うとともに利用者の同意を得て実施するように努める。
- 4 利用者の個人情報の保護は、個人情報保護法に基づく厚生労働省のガイドラインに則り、当事業所が得た利用者の個人情報については、当事業所での介護サービスの提供にかかる以外の利用は原則的に行わないものとし、外部への情報提供については、必要に応じて利用者又はその代理人の了解を得ることとする。

（事業所の名称及び所在地等）

第4条 名称所在地等は次のとおりとする。

- （1）名称 愛川北部病院
- （2）開設年月日 平成 25 年 1 月 1 日
- （3）所在地 神奈川県愛甲郡愛川町角田 281 番地の 1
- （4）電話番号 046-284-2121 FAX 番号 046-284-2345
- （5）管理者名 伊藤 忠弘
- （6）管理者代行者 大杉 忠宏
- （7）介護保険指定番号 1411600469

（従業者の職種、員数）

第5条 当事業所の従事者の職種、員数は、次のとおりであり、必置職については法令の定めるところによる。

- （1）管理者兼医師 1 名
- （2）介護職員 1 名
- （3）理学・作業療法士 4 名

(従業者の職務内容)

第6条 前条に定める当事業所職員の職務内容は、次のとおりとする。

- (1) 管理者兼医師は、病院に携わる従業者の統括管理、指導を行う。医師は、利用者の病状及び心身の状況に応じて、日常的な医学的対応を行う。
- (2) 介護職員は、利用者の通所リハビリテーション（介護予防通所リハビリテーション）計画に基づく介護を行う。
- (3) 理学療法士・作業療法士・言語聴覚士は、医師の指示に基づき検温、血圧測定等の医療行為を行なうほか、医師と共同してリハビリテーション実施計画書を作成するとともにリハビリテーションの実施に際し指導を行う。

(営業日及び営業時間)

第7条 事業所の営業日及び営業時間は以下のとおりとする。

- (1) 営業日・サービス提供日 月曜日から金曜日までとする。ただし、国民の休日及び12月30日から1月3日までを除く。
- (2) 営業時間 午前9時から午後5時までとする。
- (3) サービス提供時間 午後1時30分から午後2時50分までとする。

(利用定員)

第8条 通所リハビリテーション（介護予防通所リハビリテーション）の利用定員数は、10人とする。

(事業の内容)

第9条 通所リハビリテーション（介護予防通所リハビリテーション）は、（介護予防にあつては介護予防に資するよう、）医師、理学療法士、作業療法士、言語聴覚士等リハビリスタッフによって作成される通所リハビリテーション（介護予防通所リハビリテーション）計画及びリハビリテーション実施計画書に基づいて、理学療法、作業療法、及び言語療法その他必要なリハビリテーションを行う。

(利用者負担の額)

第10条 利用者負担の額を以下のとおりとする。

保険給付の自己負担額を、別に定める料金表より支払いを受ける。

(通常の事業の実施地域)

第11条 通常の実施地域を以下のとおりとする。

愛川町、厚木市の一部、相模原市の一部

(事業所の利用に当たっての留意事項)

第12条 通所リハビリテーション（介護予防通所リハビリテーション）利用に当たっての留意事項を以下のとおりとする。

- (1) 飲酒・喫煙は原則禁止とする。
- (2) 金銭・貴重品の管理は、原則禁止とする。やむを得ない場合は利用者各自で行う。
- (3) 通所リハビリテーション利用時の医療機関での受診は、原則として受診できない。
- (4) ペットの持ち込みは、禁止する。
- (5) 利用者の「営利行為、宗教の勧誘、特定の政治活動」は、禁止する。
- (6) 他利用者への迷惑行為は禁止する。

(非常災害対策)

第13条 消防法施行規則第3条に規定する消防計画及び風水害、地震等の災害に対処する計画に基づき、また、消防法第8条に規定する防火管理者を設置して非常災害対策を行う。

- (1) 防火管理者には、事業所管理者を充てる。
- (2) 火元責任者には、事業所職員を充てる。
- (3) 非常災害用の設備点検は、契約保守業者へ依頼する。点検の際は、防火管理者が立ち会う。
- (4) 非常災害設備は、常に有効に保持するよう努める。
- (5) 火災の発生や地震が発生した場合は、被害を最小限にとどめるため、自衛消防隊を編成し、任務の遂行に当たる。
- (6) 防火管理者は、従業員に対して防火教育、消防訓練を実施する。
 - ① 防火教育及び基本訓練（消火・通報・避難）・・・・年1回以上
 - ② 非常災害用設備の使用方法的徹底・・・・・・・・・・・・・随時その他必要な災害防止対策についても必要に応じて対処する体制をとる。

(事故発生の防止及び発生時の対応)

第14条 当事業所は、安全かつ適切に、介護・医療事故を防止するための体制を設備する。また、サービス提供等に事故が発生した場合、当事業所は、利用者に対し必要な措置を行う。

(職員の服務規律)

第15条 職員は、介護保険関係法令及び諸規則、個人情報保護法を遵守し、業務上の指示命令に従い、自己の業務に専念する。服務に当たっては、協力して事業所の秩序を維持し、常に次の事項に留意すること。

- (1) 利用者に対しては、人格を尊重し親切丁寧を旨とし、責任をもって接遇すること。
- (2) 常に健康に留意し、明朗な態度を失ってはならない。
- (3) お互いに協力し合い、能率の向上に努力するよう心掛けること。

(職員の勤務条件)

第16条 職員の就業に関する事項は、別に定める医療法人社団福寿会の就業規則による。

(職員の健康管理)

第17条 職員は、この事業所が行う年1回の健康診断を受診すること。

(衛生管理)

第18条 利用者の使用する事業所は、衛生的な管理に努め、または衛生上必要な措置を講ずるとともに、管理を適正に行う。

感染症は発生し又はまん延しないように、必要な措置を講ずるための体制を整備する。

定期的に、鼠族、昆虫の駆除を行う。

(守秘義務及び個人情報の保護)

第19条 事業所職員に対して、事業所職員である期間および事業所職員でなくなった後においても、正当な理由が無く、その業務上知り得た利用者又はその家族の個人情報情報を漏らすことがないよう指導教育を適時行うほか、事業所職員等が本規定に反した場合には、違約金を求めるものとする。

(その他運営に関する重要事項)

第20条 地震等非常その他やむを得ない事情の有る場合を除き、定員を超えて利用させない。

- 2 運営規定の概要、事業所職員の勤務体制、協力病院、利用者負担の額及び苦情処理の対応、プライバシーポリシーについては、事業所内に掲示する。
- 3 通所リハビリテーション（介護予防通所リハビリテーション）に関連する政省令及び通知並びに本運営規定に定めのない、運営に関する重要事項については、医療法人社団福寿会の役員会において定めるものとする。

附則

1. この運営規定は平成25年1月1日より施行する。
2. 平成26年4月1日に一部変更
3. 平成27年12月1日に一部変更
4. 平成30年10月1日に一部変更
5. 令和元年5月1日に一部変更
6. 令和4年4月1日に一部変更
7. 令和6年4月1日に一部変更